

データで見る両城中学校（令和8年度学校評価〔中間〕）

Ⅰ 確かな学力の向上「学力の向上」

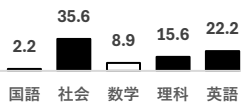
(1)基礎・基本の徹底

学力調査における通過率30%未満の生徒の割合

【3年】全国学力(R8.4)



【2年】標準学力(R8.4)



【1年】標準学力(R8.4)



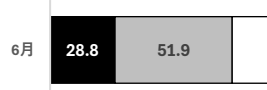
【目標値】10%

「二川授業スタイル」を踏まえ、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成の両面から学力の定着と向上を図る。

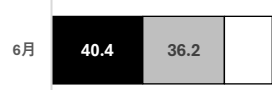


生活リズムを確立できている生徒の割合

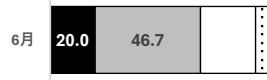
【3年】



【2年】



【1年】



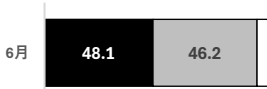
【目標値】80%

タブレットでの学習課題の提示を進め、計画的に家庭学習を行うことができるよう、学習方法・内容について継続して指導する。

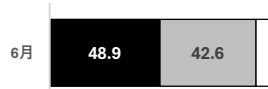
(2)思考力・判断力・表現力の向上

授業で主体的に考え表現している生徒の割合

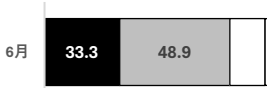
【3年】



【2年】



【1年】



【目標値】90%

ICTの活用や協働的な学びの推進などにより「考える授業づくり」を推進し、考えたことを表現する場面を意図的に設定する。

学力調査で全国平均を3割以上上回る生徒の割合

【3年】全国学力(R8.4)



【2年】標準学力(R8.4)



【1年】標準学力(R8.4)



【目標値】60%

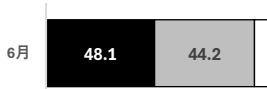
授業で各教科の見方・考え方を働かせ、根拠を示して説明する場を設定し、表現力をつける取組を進める。

2 豊かな心の育成「自尊感情の向上」

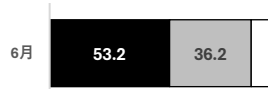
(1)自他を大切にし、認め合う生徒の育成【いじめの防止】

「学校に行くのは楽しい」と思う生徒の割合

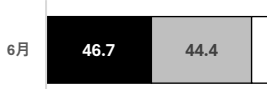
【3年】



【2年】



【1年】

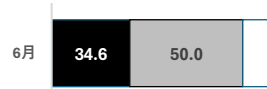


【目標値】90%

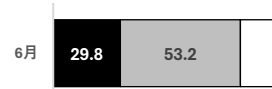
いじめ撲滅キャンペーンの取組等、生徒会や委員会活動における生徒の主体的で自治的な活動をさらに推進する。

「自分にはよいところがある」と思う生徒の割合

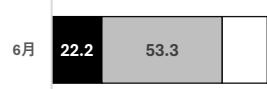
【3年】



【2年】



【1年】



【目標値】80%

生徒指導の4つの視点（自己存在感、共感の人間関係、自己決定、安全・安心な風土）を基盤に、自己肯定感・自己有用感を高める。

(2)主体的に行動できる生徒の育成

「夢や目標に向けて努力している」生徒の割合

【3年】



【2年】



【1年】



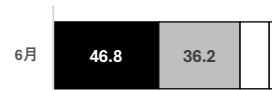
【目標値】100%

積極的な肯定的評価・発信を行い、認め合う集団づくりを進めるとともに、いじめ撲滅キャンペーンの取組をより充実させる。

【3年】



【2年】



【1年】



【目標値】85%

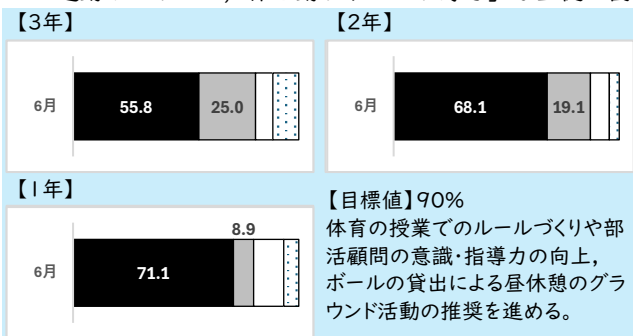
キャリア教育の充実を通して自己理解を深めたり、社会への関心を高めたりし、主体的な進路選択につなげていく。



3 健やかな体の育成「生きる力の向上」

(1) 体力の向上

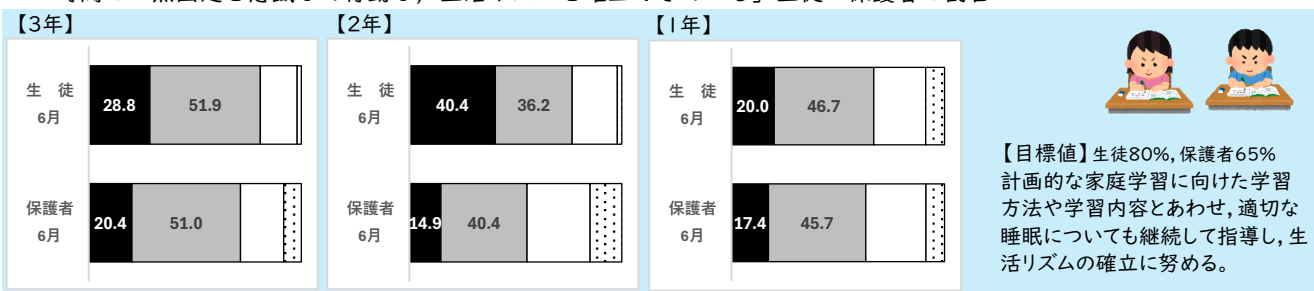
「運動やスポーツ、体を動かすことが好き」な生徒の割合



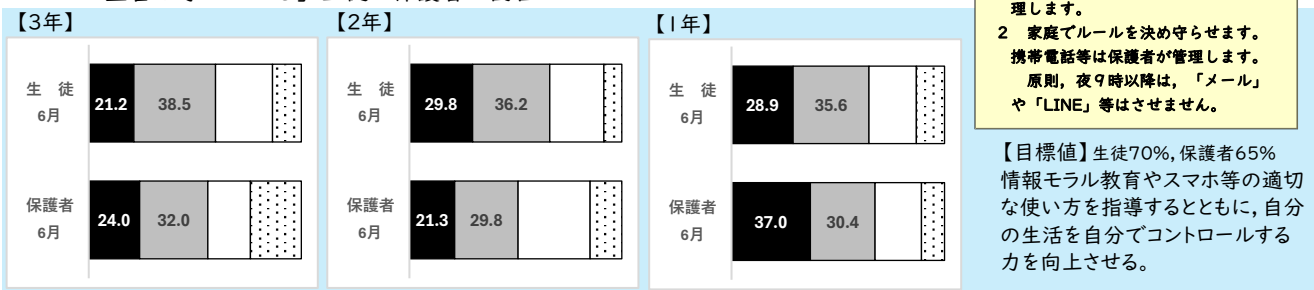
確かな学力	学力調査における通過率30%未満の生徒の割合	B
	生活リズムを確立できている生徒の割合	B
	授業で主体的に考え表現している生徒の割合	B
	学力調査で全国平均を3割以上上回る生徒の割合	B
豊かな心	「学校に行くのは楽しい」と思う生徒の割合	A
	「自分にはよいところがある」と思う生徒の割合	A
	「いじめは理由を問わずいけなく」と思う生徒の割合	B
	夢や目標に向けて努力している生徒の割合	A
健やかな体	運動やスポーツ、体を動かすことが好きな生徒の割合	B
	時間の三点固定を意識して行動している生徒の割合	B
	時間の三点固定を意識して行動している保護者の割合	B
	PTA宣言を守っている生徒の割合	B
	PTA宣言を守っている保護者の割合	B
	地域に起こりやすい災害を理解している生徒の割合	B
業務改善	災害時に避難場所や方法を理解している生徒の割合	B
	日々の業務で充実感を得られている教職員の割合	B
	時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	C

(2) 生活リズムの確立

「時間の三点固定を意識して行動し、生活リズムを確立できている」生徒・保護者の割合



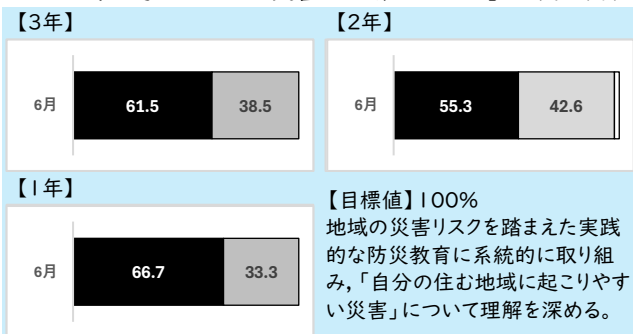
「PTA宣言を守っている」生徒・保護者の割合



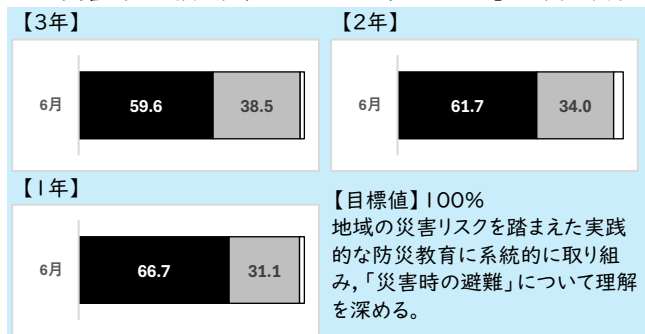
- 1 保護者が責任を持ってしっかり管理します。
- 2 家庭でルールを決め守らせませす。携帯電話等は保護者が管理します。原則、夜9時以降は、「メール」や「LINE」等はさせません。

(3) 「自分の命は自分で守る」力の育成

「地域に起こりやすい災害を理解している」生徒の割合



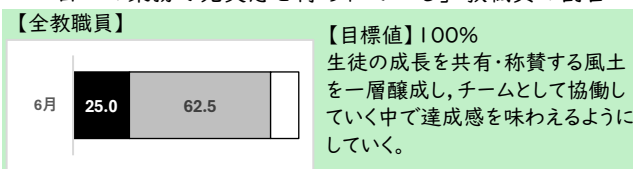
「災害時の避難場所や方法を理解している」生徒の割合



4 業務改善「教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備」

(1) 生徒と向き合う時間の確保

「日々の業務で充実感を得られている」教職員の割合



(2) 長時間勤務の削減

時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合

